

遊文通信

今回の遊文通信は…

- コロナ禍の趣味 (休日) の楽しみ方
～東京支店メンバー編～

コロナ禍の趣味・休日の楽しみ方 ～東京支店メンバー編～

今回は東京支店メンバーの普段の生活や趣味をご紹介します！
普段やり取りさせていただいている方もいらっしゃると思いますが、意外？
な一面もあるかもしれません。気軽にお読みいただければ幸いです

初！
家族そろって
ディズニー
ランド

コロナ禍、初めて子どもを連れてディズニーランドへ行きました。感染対策を講じた上での楽しみ方を模索しつつ、ワクワクが勝り入場する際にプリンセスに扮した4歳の娘はマスクから鼻が出ていました。すると、キャストの方から「プリンセス、マスクをお鼻の上まであげてね」と可愛い言い方で注意をしてくれました。徹底ぶりに

驚きつつ、感染対策が万全で安心感を得られました。

いざ、パークの中に入ると娘は「おかあさん、あそこにミッキーがいるよ」と所々のキャラクターを楽しそうに教えてくれ、私も知らないキャラクターも知っていて「どこで覚えたの？」と驚かされました。子どもが乗れるアトラクションは多いのですが、思いのほか人が多かったため、ぶらぶら散歩からスタートしました。

そして、待ち時間が少なかった小さなジェットコースターに4歳の娘を誘いました。初めてのジェットコースターだったので知らないかとも思いましたが、二つ返事で「いいよ～」

と快諾(笑)断られると思っていたのでビックリです。大きな音を立てて走るジェットコースターを指差して「これ乗るけど大丈夫？」と質問をしても「大丈夫」と心強い返事。あと少しという

ところで「ちょっとドキドキしてきた～」と弱気なことを言い出しましたが、無事泣くことなく乗り終えました。娘はもう一度乗りたいと楽しんでくれました。もう少し大きくなれば絶叫マシーン好きな私とどんなものに乗ってくれるか楽しみです。2歳の息子は、身長を計ってもらいギリギリクリアしたペイマックスのハッピーライドに乗りました。その前にほかのアトラクションも何個か乗り、楽しんでいたので勝手に大丈夫だと思って乗せましたが、かなり左右に振られてしまって「あたま、ごっつん～」と号泣してしまいました。

お昼のパレードはいい場所で見ることができ、動くキャラクターやプリンセスたちに娘は心を奪われている様子でした。他のキャラクターショーではいつも恥ずかしそうに手を叩いたり、声を出さない娘が、この時ばかりは「アリエル！」「ラプンツェル！」と声を出して喜んでいて、音楽やダンスに合わせて身体を動かしていました。恐るべし夢の国！

子どもがまだ小さいこともあり、夕方前に帰路につきましたがとても楽しい時間を過ごすことができました。

行く前はあまりミッキーに興味を示していなかった息子も、帰宅後はミッキーを見つけるたびに「みっちゃん」とはしゃぐようになりました。またもう少し子どもたちが大きくなった頃に行きたいと思います。

東京支店 営業推進 石橋 清香



趣味人の 追い求めるもの



東京支店 営業推進
堀川 南都木

多くの想いが
飛び交う戦場

先日、初めて同人誌即売会に行ってきました。
同人誌とは同じ趣味を持つもの同士が集まり、IF（もしも）を想像したものを漫画や小説で表現し、自費で作成した本のことです。テレビで取り上げられているコミックマーケットも全国で開催されている同人誌即売会の1つで、それがコミケと呼ばれるものです。
大規模に開催されるコミケに関わらず、すぐに完売する同人誌を巡って壮絶な争いが繰り広げられます。それはまさに戦場のような光景です。

勝負は家を出る前に決す

その日、うっかり寝坊してしまった私は2時間遅れで会場に到着し、お目当ての本がある所まで超競歩で移動しました。そのうちの3冊中、2冊は何とか手に入れましたが、残りの1冊は残念ながら完売していました。かなりショックでしたが、憧れの作家さんに自分の気持ちを伝えることができたので満足です。作家さんと解釈が一致したこともあり、心は繋がっているのだと勝手に喜びました。そして、応援していますということ伝え（本当は握手もしたかった）、手に入れた2冊を大事に持ち帰りました。

自分にはない
想像と触れ合う

同人誌と聞くと、アニメオタクが買うものと想像するかもしれませんが、アニメだけでなくあらゆる趣味人の表現を垣間見ることができるものです。同じジャンルであっても受け取り方は人それぞれなので、表現も一人一人違ったものになります。趣味人達が暑さや寒さに耐えてまで本を求めるのは、この魅力にあるのではないのでしょうか。



▲同人誌即売会の様子

★★★★★

東京支店 営業
中野 瞬

ゴルフ 始めました！



▲練習風景

私はこれまで趣味という趣味がなく、休日や時間が空いた時に「これをやる！」というものがありませんでした。そんな私が、夏ごろからゴルフを始めたので、私が思う「ゴルフ」の魅力をご紹介させていただきます！



▲ショートコース

ハマるきっかけは、ゴルフに詳しい友人からの誘いがあり、1本だけゴルフクラブ（アイアン）を譲ってもらったことでした。「せっかくもらったし」と思い、その一本を持って友人と打ちっぱなしに何度も行きました。友人に教えてもらったり自分でYouTubeのレッスン動画を見たりしながらどこが間違っているのか、どの感覚が正しいのかなど考えながら練習することがこんなにも楽しいとは思ってもみませんでした。なんとなくボールが飛ぶようになってきたら、ラウンドに行ってみたくて仕方がなくなりました！

コースに行くには道具が必要です。ゴルフクラブは14本まで持っていけるそうで、納得のいくものを選ぶのもまた楽しいです！状況に応じて使い分けられるようにしたり、好きなメーカーを見つけたり、見た目を選ぶのもいいですね。私はまだゴルフセットを揃えていないので、これからの道具選びも楽しみです！



▲青梅リバーサイドパーク

ある程度必要なものを揃えてから初めてのラウンドはショートコースでした。全てパー3の9ホール。結果は62打（笑）。練習場のマットと芝生では感覚が全く違い、近くまできているのに何回グリーンを飛び越えたことか……。もっと練習してうまくなりたいと切実に思いました。

ゴルフの楽しさは「難しいから」だと思います。初めはまともにボールにあたりませんでしたが、正しいフォームや姿勢を教えてもらい、その通りにできたときの「うまいっ！」という感覚が爽快です。

自然のなかで仲間と話しながらかプレーするのはとても楽しく有意義な時間だと思います。コロナ禍で密にならないスポーツであるゴルフを楽しむ方は増えたようです。体を動かす機会が減っているなかでとてもいい趣味に出会えたと思っています。皆様もぜひゴルフを楽しんでみてください。

編集後記

コロナ禍ですっかりご無沙汰しており申し訳ございません。みなさんお変わりございませんでしょうか。2021年もコロナに振り回された感がありますが、その中でも経済活動については回復の兆しが見られました。2022年からはよりうまく共存しながら経済活動を活性化させていかねばと考えております。お取引先様への訪問活動も徐々に再開して参りますので近々皆様にお会いできます事楽しみにしております。

代表取締役 木原 庸裕

今月の紙

紙：NPI上質グリーン70（再生上質紙）
A判 44.5kg